

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----|--|---|---------------------|----------------------------------|
| | I 理念に基づく運営 | | | |
| | 1. 理念の共有 | | | |
| 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | ご利用者様とその御家族様の住み慣れた地域で可能な限り、その人がその人らしい生活を継続していけるよう、共に歩みながら日常生活を支援しています | | |
| 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 地域との交流を深め、昔ながらのお付き合いや人と人とのふれあいを大切にしたホーム運営に力を注いでいます | | |
| 3 | ○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる | 二月に一度の運営推進会議に、地域の自治会長 民生委員をお招きし、ホームの運営推進を行っています | | |
| | 2. 地域との支えあい | | | |
| 4 | ○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | 散歩 日光浴の折気軽に声を掛け合い、利用者共々あたたかい言葉を頂戴しています | | |
| 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老入会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 毎月の自治会会合に出席し、ダンボール回収等協力しています また地域のバザーに出品 見学参加をしています | | |
| 6 | ○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | 運営推進会議の席上、地域で介護の手助けの要望があればお手伝いさせて頂きたいと、毎回表現しています | | |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----|---|---|---------------------|----------------------------------|
| | 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | |
| 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 評価を受けて改善する事は全職員で取り組んでいます 生活記録にケアプランの項目番号を記入する事で、記録とケアプランが連動するようになりました | | |
| 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 月々の催し事の説明 入居者の感想を述べ、次回の催し事への家族の協力を呼び掛けています | | |
| 9 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 運営推進会議に市長村担当者も参加し、サービスの質の向上に取り組んでいます | | |
| 10 | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | 勉強会に参加 書類にて送付され、開示しています | | |
| 11 | ○虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 勉強会に参加 書類にて送付され、開示しています | | |
| | 4. 理念を実践するための体制 | | | |
| 12 | ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 細部に亘り書類説明を行い、納得を図っています | | |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----|--|---|---------------------|----------------------------------|
| 13 | ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 苦情投函箱を設け、また日常的に家族からの申し出には即対応し、運営に反映させています | | |
| 14 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 月一度のかわびら通信にて、利用者の暮らしぶりや健康状態を報告し、また入居明細書に金銭明細記入し、定期的に報告しています | | |
| 15 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 日常的並びに家族会においても、家族の意見を率直に述べて頂き、運営に反映させています | | |
| 16 | ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 月一度の全体会議並びに毎朝のミーティング等で意見や提案を聞き、反映させています | | |
| 17 | ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている | 毎月交替で勤務表作りに携わり、勤務の調整に努めています | | |
| 18 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 話し合いを重ね、離職を最小限に抑えるように努めています | | |
| | 5. 人材の育成と支援 | | | |
| 19 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 研修促進に努めています | | |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----|--|---|------------------------|----------------------------------|
| 20 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 同業者の交流 訪問を通じて、サービスの質の向上に取り組んでいます | | |
| 21 | ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる | 取り組んでいます | | |
| 22 | ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている | 話し合いを重ね取り組んでいます | | |
| | Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | |
| 23 | ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | 利用前の面談で、本人の不安や希望等をよく聴くようにしています。その際腰を低く、耳元でゆっくりと語りかけ、本人より的確な意思を汲み取る様、終始心がけおります。 | | |
| 24 | ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | 利用前に家族と情報交換する機会をつくり、家族の思いをよく聴くようにしています。また利用前・入居初期は環境が変わり心細い日が続くので、家族がしばしば顔を見せて欲しいと伝えております。 | | |
| 25 | ○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 相談を受けた時に、本人、家族との話し合いの中で、「その時」に必要としている支援を見極め対応するとともに、家族より、本人の気持を職員に伝えて頂き、ミーティング等で話し合い、対応に努めています。 | | |
| 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 入居前に来所して頂き、他の利用者や職員の様子、ホームの雰囲気等を見て頂き、家族と密に情報交換に努め、徐々に馴染めるように配慮しています。 | | |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----|--|---|---------------------|--|
| | 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | |
| 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 常に職員は一緒に過しながら、目配り、気配り、ほめ言葉、思いやりの言葉で、各人に合った対応を心掛け、主体的に出来ることはしていただき、利用者から教えて頂くことも多くあります | | |
| 28 | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている | 日常の様子をこまめに報告し、家族にも気付いたことを教えて頂き、家族と共に本人を支えていく関係作りに努めています | ○ | 家族に日常の様子や心身の状態等を知って頂き、情報交換をしながら共に本人を支えていく関係作りの取り組みを進めていきたいと思えます |
| 29 | ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | 本人と家族との関係を理解し、それぞれに応じた配慮に努めています | ○ | それぞれの家族にそれぞれの関係や事情があることを理解して、本人と家族のよりよい関係が築いていけるよう取り組んでいきたいと思えます |
| 30 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 長年生きてこられた環境を考慮し、会話の中に取り入れたり、気付いたことは家族に連絡をして、友人が訪ねて来られる方もいます | | |
| 31 | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている | 利用者同士の関係を保てるように声かけをし、一緒に食事の準備等行う中で関わり合い、支え合えるように支援をしています また揉め事等があれば冷静になるための時間をおいて話し合う時もあります | | |
| 32 | ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | 契約が終了しても、墓参り、盆参り、入院者の方には電話で様子を聞き、心の交流を保ち、県外へ転院された方には、生活記録の要点を冊子にまとめ送付し、介護のあり方がわかりましたと、その後も月1度様子を連絡して下さいます | | |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----|---|---|-------------------------|---|
| | Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1. 一人ひとりの把握 | | | |
| 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | じっくり話を聴き、本人の意思を尊重するように努めております | ○ | 担当職員が中心となり、本人の暮らし方の希望や意向の把握に努め、それに基づいた支援が出来るよう取り組んでいきたいと思っております |
| 34 | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 入居時、入居後、本人、家族、これまでのサービス提供機関からの情報の把握に努めております | ○ | 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境等、本人や家族からなるべくたくさんの情報を集め、把握するよう取り組みを深めていきたいと思っております |
| 35 | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている | 毎朝のバイタルチェックにより、心身の状態を把握し、生活の中で1日の過ごし方や有する力の把握をしております。 | | |
| | 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | |
| 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 本人、家族の意向に基づき、職員を含め話し合い、介護計画を作成しております | ○ | 担当職員と計画作成担当者が中心となり、本人・家族・関係者・職員から意見やアイデアを吸い上げ、それらを反映した介護計画を作成するよう、さらなる取り組みをしていきたいと思っております |
| 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 介護計画の期間に応じて見直しを行い、変化が生じた場合はその都度本人、家族、職員間で話し合い、主治医と連携し、新たな計画を作成しております。 | | |
| 38 | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 介護計画に沿ってケアの実践、結果、気づき等を個別記録に記入し、毎朝のミーティングで情報を共有し、計画の見直しに活かしております | | |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----|--|--|---------------------|----------------------------------|
| | 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | |
| 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、馴染み関係を大切にしながら事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 地域の自治会長、民生委員の皆様と気軽に話が出来、地域住民の困りごと、様子等教えていただく場を設け、多機能性を活かせるよう努めております | | |
| | 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | |
| 40 | ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している | ボランティアによる車でのドライブ、地域ふれあいセンターへの作品出展等、各機関と協力しながら支援しております | | |
| 41 | ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている | 他のサービス事業所へ困りごとの相談や、情報交換、アドバイスを頂き、支援に活かしております | | |
| 42 | ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | 必要性に応じて地域包括支援センターと情報交換をしております | | |
| 43 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 本人及び家族の希望を大切に、主治医の指示や病状説明は間違いの無いよう文書にして家族に説明し、家族から意見や要望があれば主治医に伝え、直接主治医から家族に説明して頂くこともしながら、納得して医療を受けられるよう支援しております | | |
| 44 | ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | 認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が適切な診断、治療を受けられるよう支援しております | | |
| 45 | ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている | 利用者をよく知る看護職員には気軽に相談出来、アドバイスを頂きながら日常の健康管理に努めております | | |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----|--|--|---------------------|----------------------------------|
| 46 | ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | 早期退院に向けて、お見舞いや、病室に置く連絡ノートの活用等により、病院や家族との情報交換に努めております | | |
| 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 本人、家族の意向を大切に主治医と連携をとりながら、全員で方針を共有するよう努めております | | |
| 48 | ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | 家族や職員がなるべく寄り添い、主治医の指示のもと、ホームで出来ることを共有し、チームとしてより良い終末期への支援に取り組んでおります | | |
| 49 | ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | 本人のダメージを防ぐために、家族及びケア関係者間での情報交換に努めております | | |
| | IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重 | | | |
| 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 例えばボタンの掛け違いを皆の前で口にせず、さりげなく声かけする等、言葉かけや対応に気を付け、記録にアルファベットを使用し、毎朝のミーティング時名前を出さず、名札を指す等、プライバシーの保護に努めております | | |
| 51 | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている | 本人がわかるまでゆっくり低い声で話すよう努め、本人の思いや希望を尊重した支援に努めております | | |
| 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 年齢、体力、気候等を配慮し、食事の時間やレクリエーションの内容等、一人ひとりのペースや希望を大切に支援しております | | |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----|---|--|------------------------|----------------------------------|
| | (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | |
| 53 | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている | 理容、美容は望む店に行かれたり、専門家がホームに来てして下さいます いずれも金銭面に配慮しながら身だしなみに心掛けております | | |
| 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | 声かけしながら盛り付けや配膳、食事、片付けまで利用者と一緒に行っております | | |
| 55 | ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している | コーヒー、ヤクルト、牛乳、ポカリスエット等の飲み物やおやつ等、一人ひとりの好みに合わせて楽しめるよう支援しております | | |
| 56 | ○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している | 排泄チェック表を用いて、一人ひとりのパターン、習慣に合わせた声かけや介助により、気持ちよく排泄できるよう支援しております | | |
| 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 一応の入浴日は決めています、利用者のその日の体調や希望により、入浴日の変更等行い、入浴を楽しめるよう支援しております | | |
| 58 | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している | 夜間巡室時、空調管理、布団の調節等行い、また朝が遅い方には朝食の時間をずらす等配慮しております | | |
| | (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | |
| 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 趣味でカゴ作りをされたり、日光浴、散歩、カラオケ、炊事等各人でまたは皆で楽しめるよう支援しております | | |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----|---|---|---------------------|----------------------------------|
| 60 | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 自己管理できる方はして頂き、その他の方は本人、家族の希望により、ホームで小遣いを預かり、希望時に使えるようにしております | | |
| 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 天気の良い日は散歩、ドライブ、玄関先の長椅子での日光浴、家族との外出等、戸外へ出掛けられるよう支援しております | | |
| 62 | ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | 墓参り、買い物、ドライブ等、入居者の気持を考え、家族、職員、ボランティアと共に掛けられる機会をつくり、支援しております | | |
| 63 | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 玄関に公衆電話を設置して、好きな時間に使用したり、電話をかけたり、手紙を書くお手伝いをする等、支援しております | | |
| 64 | ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している | 玄関の面会票に記入して頂き、居室、居間、食堂等で自由に談話して頂いています また来所の折はねぎらいの言葉で心よりお礼申し上げますようにしております | | |
| | (4) 安心と安全を支える支援 | | | |
| 65 | ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 利用者の状態の把握、ヒヤリハットの活用により、声かけ、見守り、適切な用具の選定等、身体拘束をしないケアに取り組んでおります | | |
| 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 居室や、日中玄関に鍵をかけず、見守りにより、鍵をかけないケアに取り組んでおります | | |
| 67 | ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している | 申し送りや生活記録等により、利用者のその日の様子を把握し、見守りや訪室等により安全に配慮しております | | |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----|--|---|-------------------------|--|
| 68 | ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている | 包丁は夜間は見えない所に置き、ハサミ、針等は一人ひとりの能力に応じて使用方法を判断し、洗剤、薬品は直接目に触れないよう目隠ししております | | |
| 69 | ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる | 薬のセット後別の職員が確認する、一人での外出時は名札を持参し、事前に本人・家族に文書交換により確認している順路を散歩して頂く等、誤薬、行方不明等の事故防止に取り組んでおります | | |
| 70 | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている | 利用者の急変や事故発生時に備え、ミーティングや全体会議の中で初期対応の方法を申し合わせております | ○ | 全ての職員が初期対応を適切に行えるよう、定期的な訓練に取り組んでいきたいと思っております |
| 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 年2回の消防・避難訓練の中で、利用者の避難誘導方法を見につけ、地域の皆様と仲良く、進んで挨拶を交わし、いざの折気軽に応援に駆けつけて下さるような付き合いをしております | | |
| 72 | ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている | その時の状態により、起こり得るリスクについて、家族とよく話し合いながら、対応をしております | | |
| | (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | |
| 73 | ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている | 毎朝のバイタルチェックや入浴時の身体観察等により、早期発見に努め、異変に気付いた際は主治医、ホーム長に連絡し、指示に従い対応し、急変の場合は昼夜問わず家族へ連絡をしております | | |
| 74 | ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 服薬は主治医の指示に基づき、確実に飲むまで目で確認し、症状に変化があれば、主治医に報告し、指示を仰いでおります | | |
| 75 | ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる | 毎日排便チェックを行い、牛乳の提供、運動、散歩、レクリエーション等により身体を動かす働きかけをしています ウォシュレットの刺激も便通に効果があります | | |

| 番号 | 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----|---|---|-------------------------|----------------------------------|
| 76 | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている | 毎食後の口腔ケアの声かけや介助を行っております | | |
| 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事、水分摂取量のチェックを行い、居室に白湯を用意して、夜間も排泄に起きた時等に飲水の声かけや介助をしております | | |
| 78 | ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等) | 入居者 職員 来客者に、手洗い うがい アルコール消毒の呼び掛け、掲示を行い予防に努めております | | |
| 79 | ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている | 食器 調理用具は乾燥機にかけて、まな板 ふきん類はハイター消毒を行い、実施ノートに記録しています | | |
| | 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり | | | |
| 80 | ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている | 玄関周りに花や緑、めだか等を置き、家庭的で親しみやすい工夫をしております | | |
| 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | トイレは入ったらセンサーで電気が点くようにし、夜間は廊下等明るすぎないように調節して、季節の花を飾ったり、家庭的な空間作りに努めています また家族より誕生祝の鉢植えは、了解を得て玄関に飾らせて頂くこともあります | | |
| 82 | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 玄関先にベンチを置いたり、居間にソファーを設置して、独りになれる居場所の工夫をしております | | |
| 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 使い慣れた家具を持ち込み、使用して頂いております(タンス、ソファ等) | | |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----|--|--|-------------------------|----------------------------------|
| 84 | ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | 空気の入替えや、温度・湿度調節を行い、利用者の状況に応じて空気清浄機や消臭剤の使用をしています | | |
| | (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | |
| 85 | ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 手すりを付け、段差をなくし、滑り止めの使用等、安全で持っている能力を活かせる工夫をしています | | |
| 86 | ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している | 家事を一緒に行い、入浴・排泄等各場面で、必要な声かけや見守りを行い、混乱や失敗を防ぐよう努めています | | |
| 87 | ○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている | 玄関先の緑や生き物に触れたり、ベンチで日光浴ができるように活かしています | | |

| 番号 | 項目 | 取り組みの成果 (該当する箇所に○印をつける) |
|------------------------|-----------------------------------|---|
| v サービスの成果に関する項目 | | |
| 88 | ○職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | 《 》①ほぼ全ての利用者の 《 ○ 》②利用者の2/3くらいの 《 》③利用者の1/3くらいの 《 》④ほとんど掴んでいない |
| 90 | ○利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | 《 ○ 》①毎日ある 《 》②数日に1回程度ある 《 》③たまにある 《 》④ほとんどない |
| 91 | ○利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | 《 》①ほぼ全ての利用者が 《 ○ 》②利用者の2/3くらいが 《 》③利用者の1/3くらいが 《 》④ほとんどいない |
| 92 | ○利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている | 《 》①ほぼ全ての利用者が 《 ○ 》②利用者の2/3くらいが 《 》③利用者の1/3くらいが 《 》④ほとんどいない |
| 93 | ○利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている | 《 》①ほぼ全ての利用者が 《 ○ 》②利用者の2/3くらいが 《 》③利用者の1/3くらいが 《 》④ほとんどいない |
| 94 | ○利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている | 《 》①ほぼ全ての利用者が 《 ○ 》②利用者の2/3くらいが 《 》③利用者の1/3くらいが 《 》④ほとんどいない |

| 番号 | 項目 | 取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと) |
|-----|--|---|
| 96 | ○利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている | 《 》①ほぼ全ての利用者が 《 ○ 》②利用者の2/3くらいが 《 》③利用者の1/3くらいが 《 》④ほとんどいない |
| 95 | ○職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | 《 》①ほぼ全ての家族と 《 ○ 》②家族の2/3くらいと 《 》③家族の1/3くらいと 《 》④ほとんどできていない |
| 96 | ○通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている | 《 ○ 》①ほぼ毎日のように 《 》②数日に1回程度 《 》③たまに 《 》④ほとんどない |
| 97 | ○運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | 《 》①大いに増えている 《 ○ 》②少しずつ増えている 《 》③あまり増えていない 《 》④全くない |
| 98 | ○職員は、生き活きと働いている | 《 》①ほぼ全ての職員が 《 ○ 》②職員の2/3くらいが 《 》③職員の1/3くらいが 《 》④ほとんどいない |
| 99 | ○職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | 《 》①ほぼ全ての利用者が 《 ○ 》②利用者の2/3くらいが 《 》③利用者の1/3くらいが 《 》④ほとんどいない |
| 100 | ○職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | 《 》①ほぼ全ての家族等が 《 ○ 》②家族等の2/3くらいが 《 》③家族等の1/3くらいが 《 》④ほとんどできていない |